



最新AI×模擬試験

追い込み試験 (午前120問)

新カリキュラム対策を行った
厳選問題をお届け

試験合格のスペシャリスト

介護のプロ養成講座

問 1: 感染症法に基づき、1 類感染症に該当しないものを選びなさい。

1. エボラ出血熱
2. マラリア
3. ペスト
4. クリミア・コンゴ出血熱

問 2: 次のうち、「生活習慣病」に該当しないものを選びなさい。

1. 糖尿病
2. 脂質異常症
3. 関節リウマチ
4. 高血圧症

問 3: 日本の死因順位において、2023 年時点で最も多い死因を選びなさい。

1. 心疾患
2. 悪性新生物(がん)
3. 脳血管疾患
4. 肺炎

問 4: 次の疾患のうち、神経変性疾患に該当するものを選びなさい。

1. パーキンソン病
2. 骨粗しょう症
3. 虚血性心疾患
4. 糖尿病

問 5: 高齢者に多く見られる「サルコペニア」とは何を指すか。

1. 骨の密度が低下する状態
2. 筋肉量や筋力が低下する状態

3. 神経の働きが低下する状態
4. 消化器系の機能が低下する状態

問 6: 次のうち、医療保険制度において「後期高齢者医療制度」の対象年齢として正しいものを選びなさい。

1. 60 歳以上
2. 70 歳以上
3. 75 歳以上
4. 80 歳以上

問 7: 精神疾患における「DSM-5」で分類されているものとして正しくないものを選びなさい。

1. 双極性障害
2. 統合失調症
3. 心筋梗塞
4. 不安障害

問 8: 次の疾患のうち、国が定める「指定難病」に該当するものを選びなさい。

1. 糖尿病
2. 潰瘍性大腸炎
3. 高血圧症
4. 虚血性心疾患

問 9: WHO が提唱する「健康の定義」に該当しないものを選びなさい。

1. 身体的健康
2. 精神的健康
3. 社会的健康
4. 経済的健康

問 10: 次の疾患のうち、予防接種の対象として国が定めているものを選びなさい。

1. 肝硬変
2. 結核
3. 心筋梗塞
4. 腎不全

心理学に関する模擬試験問題(5問)

問 1: 次の心理学理論のうち、発達段階を重視する理論を選びなさい。

1. フロイトの精神分析理論
2. ピアジェの認知発達理論
3. スキナーの行動主義理論
4. ワトソンの古典的条件付け理論

問 2: 「自己実現」という概念を提唱した心理学者として正しいものを選びなさい。

1. マズロー
2. バンデューラ
3. エリクソン
4. ロジャーズ

問 3: 社会心理学における「認知的不協和理論」において、次の行動の中で不協和を解消するために取られる可能性が高いものを選びなさい。

1. 矛盾する情報を無視する。
2. 自分の考えを変える。
3. 他人に責任を転嫁する。
4. すべて正しい。

問 4: 人が周囲の期待に応じて自分の行動を調整することを指す心理学用語を選びなさい。

1. 自己効力感
2. 適応行動
3. 同調行動
4. モデリング

問 5: パーソナリティ心理学で用いられる「ビッグファイブ理論」に含まれない特性を選びなさい。

1. 神経症傾向
2. 誠実性
3. 外向性
4. 知覚過敏

社会システムに関する模擬試験問題(5問)

問 6: 日本の社会保障制度に含まれる「社会保険」に該当しないものを選びなさい。

1. 医療保険
2. 雇用保険
3. 労働保険
4. 年金保険

問 7: 地域包括ケアシステムが目指す社会像として適切でないものを選びなさい。

1. 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる。
2. すべての医療を都市部の大規模病院に集中させる。
3. 医療、介護、住まい、生活支援が一体化する。
4. 地域全体で支え合う仕組みを構築する。

問 8: 公共政策の決定過程を説明する理論として最も関連が深いものを選びなさい。

1. 公益理論
2. 政策過程理論
3. 社会的学習理論
4. 利己的行動理論

問 9: 地域福祉活動計画に関する次の記述のうち、正しいものを選びなさい。

1. 地域住民の意見を反映する必要はない。
2. 市町村が策定することが義務付けられている。
3. 地域福祉活動は福祉施設内で完結する。
4. ボランティア団体と協働して計画を進める場合がある。

問 10: 次の中で「ナショナル・ミニマム」の概念に最も関係があるものを選びなさい。

1. 社会保障制度
2. 地域包括ケアシステム
3. 労働基準法
4. 子ども家庭福祉

社会学に関する模擬試験問題(5問)

問 1: 「アノミー」の概念を提唱した社会学者として正しいものを選びなさい。

1. マックス・ウェーバー
2. エミール・デュルケーム
3. カール・マルクス
4. オーギュスト・コント

問 2: 「近代社会の特質」として、マックス・ウェーバーが提唱した概念を選びなさい。

1. 官僚制
2. アニミズム
3. 資源依存
4. 地縁社会

問 3: 「日常生活における相互行為」を分析することに重点を置いたアプローチとして正しいものを選びなさい。

1. 構造機能主義
2. シンボリック相互作用論
3. コンフリクト理論
4. システム理論

問 4: 「社会階層と移動」に関する次の記述のうち、正しいものを選びなさい。

1. 社会階層は個人の選択によって完全に変えられる。
2. 開放的な社会では垂直的な社会移動が促進される。
3. 閉鎖的な社会では職業の自由な選択が可能である。
4. 社会階層は必ず固定されている。

問 5: 「ラベリング理論」が最も関連するテーマを選びなさい。

1. 教育と学力差
2. 犯罪と逸脱行動
3. 貧困と社会福祉
4. 家族と役割分担

社会システムに関する模擬試験問題(5問)

問 6: 「社会システム理論」を提唱したニクラス・ルーマンの考えに基づく記述として正しいものを選びなさい。

1. 社会システムは外部環境からの影響を排除する。
2. 社会システムは自己再生的であり、環境との相互作用を通じて変化する。
3. 社会システムは個人の自由意志を基盤とする。
4. 社会システムは政府がすべてを管理することで成立する。

問 7: 「福祉国家」に関する次の記述のうち、正しいものを選びなさい。

1. 福祉国家は市場原理を完全に否定する。
2. 福祉国家の目的は、国民の最低限度の生活を保障することである。
3. 福祉国家は企業の収益を直接的に管理する制度である。
4. 福祉国家は教育政策を除外している。

問 8: 地域包括ケアシステムの中核的役割を担う機関として正しいものを選びなさい。

1. 厚生労働省
2. 地域包括支援センター
3. 市町村役場
4. 社会福祉協議会

問 9: 社会保障制度における「ナショナル・ミニマム」の理念として最も適切なものを選びなさい。

1. 高所得者の税負担を軽減する。
2. 最低限度の生活を全ての国民に保障する。
3. 社会保険制度を全廃する。
4. 企業に福祉サービスの提供を義務付ける。

問 10: 公共政策の決定における「合意形成」に関連する理論として正しいものを選びなさい。

1. ゲーム理論
2. 公共選択理論
3. 行動主義理論
4. 無差別理論

社会福祉の原理に関する模擬試験問題(5問)

問 1: 「エンパワメント」という概念が示すものとして最も適切なものを選びなさい。

1. クライアントの自立を促し、力を引き出すこと。
2. すべての人に平等に資源を分配すること。
3. 社会福祉士が必要な資源を提供すること。
4. 高齢者のための福祉施設を建設すること。

問 2: 社会福祉の基本原則における「社会的公正」として正しいものを選びなさい。

1. 財産を所有している人のみが福祉を受ける権利を有する。
2. 全ての人に公平な機会と権利を保障する。
3. 国籍に基づき福祉の対象者を限定する。
4. 社会福祉の利用は自己負担が原則である。

問 3: 「人間の尊厳」という社会福祉の基本理念に基づいた行動として最も適切なものを選びなさい。

1. クライアントの意思決定を最大限尊重する。
2. 福祉サービス利用の条件を厳しく設定する。
3. クライアントのプライバシーよりも効率を優先する。
4. 資源不足のため支援を一律に制限する。

問 4: 次のうち、社会福祉の対象を限定するアプローチとして正しいものを選びなさい。

1. 普遍主義
2. 選別主義
3. 包括主義
4. 自助主義

問 5: 地域福祉の原理として正しいものを選びなさい。

1. 福祉活動は専門職のみが行うべきである。
2. 地域住民の参加が不可欠である。
3. 行政が主体となり、住民の関与は最小限にする。
4. 資金援助を必要としない活動を優先する。

社会福祉政策に関する模擬試験問題(5問)

問 6: 日本の社会福祉政策の原点として位置付けられる法律はどれか。

1. 生活保護法
2. 社会福祉法
3. 児童福祉法
4. 老人福祉法

問 7: 次のうち、ノーマライゼーションの理念が最も関連する福祉政策を選びなさい。

1. 障害者基本法
2. 労働基準法
3. 介護保険法
4. 生活保護法

問 8: 福祉政策における「公私混合」という概念が示すものとして最も適切なものを選びなさい。

1. 福祉サービスを全て民間に委託する。
2. 公的な支援と民間の取り組みを組み合わせるサービスを提供する。
3. 公的支援を削減し、自己責任を求める。
4. 福祉サービスを利用する際に所得審査を行う。

問 9: 社会福祉政策において「プログラム評価」の目的として正しいものを選びなさい。

1. 予算の削減を目的とする。
2. 政策が目標を達成しているかを評価する。
3. 福祉ニーズを限定的に把握する。
4. 地域住民の満足度を無条件に高める。

問 10: 日本の社会保障制度における「介護保険制度」の特徴として正しいものを選びなさい。

1. すべての高齢者が保険料を負担する必要はない。
2. 給付を受けるには要介護認定が必要である。
3. 介護保険料は税金のみで賄われている。
4. 施設サービスのみが提供される。

社会保障 模擬試験問題(10問)

問 1: 社会保障制度に含まれる基本的な4つの柱に該当しないものを選びなさい。

1. 医療保険
2. 公的扶助
3. 雇用保険
4. 教育保障

問 2: 日本の国民皆保険制度が確立された年として正しいものを選びなさい。

1. 1945 年
2. 1950 年
3. 1961 年
4. 1973 年

問 3: 公的扶助制度の目的として最も適切なものを選びなさい。

1. 中間所得層の収入を支えること
2. 社会的弱者の自立を支援し、最低限度の生活を保障すること
3. 労働者の労働条件を改善すること
4. 高齢者向けの福祉施設を提供すること

問 4: 年金保険制度における「基礎年金」の対象として正しいものを選びなさい。

1. 公務員のみ
2. 会社員のみ
3. 自営業者、会社員、公務員などすべての国民
4. 高齢者のみ

問 5: 日本における介護保険制度の利用者負担割合として正しいものを選びなさい。

1. 利用者は原則として無料でサービスを受けられる
2. 利用者は原則として 1 割または 2 割の負担をする
3. 利用者はすべての費用を全額自己負担する
4. 利用者負担割合は自治体によって決まる

問 6: 雇用保険制度における「基本手当」の給付を受けるための条件として誤っているものを選びなさい。

1. 一定期間、雇用保険に加入していること

2. 離職後すぐに新しい職場が決定していること
3. 離職の理由が給付条件に該当すること
4. ハローワークで求職活動を行っていること

問 7: 生活保護法に基づく扶助の種類として正しくないものを選びなさい。

1. 生活扶助
2. 教育扶助
3. 住宅扶助
4. 年金扶助

問 8: 社会保障の財源として最も大きな割合を占めているものを選びなさい。

1. 保険料
2. 国庫負担金(税金)
3. 利子収入
4. 寄付金

問 9: 日本における「医療保険」の一つで、75 歳以上の高齢者を対象とするものを選びなさい。

1. 健康保険
2. 国民健康保険
3. 後期高齢者医療制度
4. 共済組合

問 10: 次のうち、「ナショナル・ミニマム」という概念に最も関連する社会保障の仕組みを選びなさい。

1. 公的扶助
2. 医療保険
3. 雇用保険

4. 企業年金

権利擁護を支える法制度 模擬試験問題(10問)

問 1: 成年後見制度における「任意後見契約」に関する次の記述のうち、正しいものを選びなさい。

1. 家庭裁判所が後見人を指名する制度である。
2. 本人が判断能力を喪失した後に契約を締結する。
3. 契約は公正証書によって行う必要がある。
4. 後見監督人は不要である。

問 2: 次のうち、障害者の権利を保護するための法律として正しいものを選びなさい。

1. 障害者差別解消法
2. 労働基準法
3. 生活保護法
4. 道路交通法

問 3: 虐待防止法の対象に該当しないものを選びなさい。

1. 児童虐待
2. 配偶者暴力
3. 高齢者虐待
4. 飼い犬への虐待

問 4: 高齢者虐待防止法に基づく、高齢者虐待の防止を目的とした行政の措置として正しいものを選びなさい。

1. 高齢者の財産を差し押さえる権限を持つ。
2. 虐待が疑われる場合、速やかに訪問調査を行う。
3. 虐待の事実が確認されるまで通報を受け付けない。

4. 虐待者を自動的に刑事告発する。

問 5: 成年後見制度における「補助人」の役割として正しいものを選びなさい。

1. 本人の全財産を管理する。
2. 本人が選択した一部の行為を補助する。
3. 本人の判断能力を完全に代行する。
4. 本人が入院する際の医療行為を全て決定する。

問 6: DV 防止法(配偶者暴力防止法)に基づく、被害者保護のための措置として誤っているものを選びなさい。

1. 配偶者の接近禁止命令
2. 被害者の一時保護
3. 被害者への支援センターの設置
4. 配偶者の財産没収

問 7: 児童虐待防止法における虐待の種類として該当しないものを選びなさい。

1. 身体的虐待
2. 性的虐待
3. 心理的虐待
4. 経済的虐待

問 8: 障害者基本法に基づく、障害者の権利を守るための基本的な考え方として正しいものを選びなさい。

1. 障害者の社会参加を制限する。
2. ノーマライゼーションの理念に基づいて支援する。
3. 障害者に自己責任を求める。
4. 障害者は特定の施設でのみ支援を受けられる。

問 9: 成年後見制度の利用において、本人の判断能力が完全に喪失している場合に適用されるのはどれか。

1. 任意後見
2. 補助
3. 保佐
4. 後見

問 10: 生活保護法に基づき、権利擁護の観点から重要とされる原則として正しいものを選びなさい。

1. 最低限度の生活を保障し、自立を助長する。
2. 自立を助長することなく一律の支援を提供する。
3. 財産を持つ人にのみ支援を行う。
4. すべての支援は自治体の裁量による。

地域福祉に関する模擬試験問題(5問)

問 1: 地域福祉における「住民参加」の目的として最も適切なものを選びなさい。

1. 福祉サービスを専門職に限定する。
2. 地域住民が自らのニーズに基づいた活動を行えるようにする。
3. 福祉活動を行政の責任に集中させる。
4. 福祉施設の運営費を削減する。

問 2: 地域包括ケアシステムの基本理念に該当しないものを選びなさい。

1. 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられること。
2. 医療と介護を分離し、それぞれ独立して支援を行うこと。
3. 医療、介護、予防、住まい、生活支援を一体的に提供すること。
4. 地域全体で高齢者を支える仕組みを構築すること。

問 3: 「地域福祉活動計画」の策定に関する次の記述のうち、正しいものを選びなさい。

1. 策定は社会福祉協議会のみによって行われる。
2. 住民や地域組織の参加が必要である。
3. 行政のみで計画を作成する必要がある。
4. 計画は一度策定すると改定は不要である。

問 4: 地域福祉における「互助」の具体例として最も適切なものを選びなさい。

1. 介護保険サービスの利用
2. 隣人同士の助け合い活動
3. ボランティア活動の支援
4. 国や自治体による福祉サービスの提供

問 5: 地域福祉の推進における「住民主体」の考え方に基づいた取り組みとして最も適切なものを選びなさい。

1. 地域住民が福祉ニーズを行政に一任する。
2. 専門職がすべての福祉活動を行う。
3. 地域住民が福祉活動に積極的に参画する。
4. 住民からの意見は参考とせず行政が計画を策定する。

包括的支援体制に関する模擬試験問題(5問)

問 6: 地域包括支援センターの役割として正しいものを選びなさい。

1. 医療サービスの直接提供を行う。
2. 要介護者のみを対象に支援する。
3. 介護予防、相談支援、権利擁護などの包括的な支援を行う。
4. 高齢者施設の経営管理を行う。

問 7: 地域包括支援センターで行われる「権利擁護」の具体例として最も適切なものを選びなさい。

1. 高齢者の財産を管理するための成年後見制度の活用支援。
2. 介護保険サービスの契約手続きを代行する。
3. 高齢者向けの施設運営を行う。
4. 地域のボランティア活動の運営を指揮する。

問 8: 包括的支援体制における「介護予防ケアマネジメント」の目的として正しいものを選びなさい。

1. 要介護認定を受けることを促進する。
2. 自立した生活を維持し、要介護状態になるのを防ぐ。
3. 医療費の負担を増加させる。
4. 在宅医療を提供する。

問 9: 包括的支援体制が目指す「地域包括ケアシステム」における「予防」の具体例として最も適切なものを選びなさい。

1. 高齢者が地域で自主的に体操教室を運営する。
2. 地域包括支援センターが全てのサービスを提供する。
3. 専門職が高齢者全員の生活を直接監視する。
4. 自治体が高齢者の移動を制限する。

問 10: 地域包括ケアシステムが構築される上での課題として最も適切なものを選びなさい。

1. 高齢者の孤立を防ぎ、支援の届く体制を構築すること。
2. 全ての介護を施設サービスに依存すること。
3. 高齢者人口の増加に伴い、医療と介護を完全に分離すること。
4. 地域住民の参加を制限し、専門職のみに支援を限定すること。

障害者福祉 模擬試験問題(10問)

問 1: 日本における障害者福祉の基本法として正しいものを選びなさい。

1. 障害者基本法
2. 障害者差別解消法
3. 生活保護法
4. 高齢者福祉法

問 2: 障害者差別解消法で義務付けられている「合理的配慮」に該当するものを選びなさい。

1. 障害者専用の施設を建設する。
2. 障害者が利用しやすいよう建物のバリアフリー化を行う。
3. 障害者の雇用を免除する。
4. 障害者の支援は自治体のみが行う。

問 3: 障害者総合支援法における「自立支援給付」の内容として該当しないものを選びなさい。

1. 訓練等給付
2. 介護給付
3. 移動支援給付
4. 保育サービス

問 4: 障害者雇用促進法に基づき、企業に課される障害者雇用率の対象となる企業規模はどれか。

1. 従業員数 5 人以上の企業
2. 従業員数 10 人以上の企業
3. 従業員数 43.5 人以上の企業
4. 従業員数 50 人以上の企業

問 5: 障害者基本法における「ノーマライゼーション」の理念が目指すものとして最も適切なものを選びなさい。

1. 障害者が特別な支援を受ける社会を作る。
2. 障害者と健常者が分離された社会を目指す。
3. 障害者が地域社会の中で共に生活できる社会を作る。
4. 障害者が経済活動に関与しない社会を作る。

問 6: 次のうち、障害者支援施設で提供されるサービスとして正しくないものを選びなさい。

1. 生活介護
2. 就労移行支援
3. 入所支援
4. 一般教育支援

問 7: 障害者差別解消法で求められる「社会的障壁」の除去に該当する具体的な例として最も適切なものを選びなさい。

1. 車椅子利用者のために段差を解消する。
2. 職場で障害者を優先的に採用する。
3. 障害者を学校に通わせない。
4. 障害者の意思を代行して決定する。

問 8: 障害者雇用促進法に基づく「法定雇用率」を満たさない企業が行うべき措置として正しいものを選びなさい。

1. 障害者雇用納付金を支払う。
2. 障害者の採用活動を中止する。
3. 障害者雇用を全て自治体に委託する。
4. 法定雇用率を満たさないことを公開する。

問 9: 障害者基本法に基づく「障害者週間」の期間として正しいものを選びなさい。

1. 5月1日～7日
2. 6月1日～7日
3. 12月3日～9日
4. 1月1日～7日

問 10: 障害者総合支援法に基づき、「意思疎通支援事業」で提供されるサービスとして最も適切なものを選びなさい。

1. 就労支援の提供
2. 点字資料や手話通訳の提供
3. 高齢者への生活介護サービス
4. 障害者のための医療費助成

刑事司法と福祉 模擬試験問題(10問)

問 1: 更生保護制度において、犯罪者の社会復帰を支援するための施設として正しいものを選びなさい。

1. 社会福祉協議会
2. 更生保護施設
3. 地域包括支援センター
4. 社会復帰促進センター

問 2: 犯罪被害者支援法に基づく「被害者等給付金制度」において、給付の対象とならないものを選びなさい。

1. 犯罪行為によって死亡した被害者の遺族
2. 犯罪行為によって負傷した被害者
3. 自然災害で被害を受けた被災者

4. 犯罪行為によって障害を負った被害者

問 3: 刑事司法と福祉が交わる領域における「福祉的アプローチ」の目的として最も適切なものを選びなさい。

1. 犯罪者を隔離し、再犯を防止する。
2. 犯罪者や被害者が抱える社会的課題を解決し、自立を支援する。
3. 犯罪行為のすべてを法的に処罰する。
4. 犯罪者の社会的制裁を強化する。

問 4: 次の中で、保護観察における主な支援対象者として該当しないものを選びなさい。

1. 仮釈放中の者
2. 執行猶予中の者
3. 少年院から退院した者
4. 刑期を満了した者

問 5: 少年法に基づく少年院の目的として正しいものを選びなさい。

1. 少年の刑罰を厳格に科す。
2. 少年の教育と更生を支援する。
3. 少年を長期間拘束する。
4. 少年の家族を罰する。

問 6: 再犯防止推進法に基づく「再犯防止推進計画」の主な目的として正しいものを選びなさい。

1. 刑罰の強化
2. 犯罪者の隔離
3. 犯罪者の自立支援と再犯防止
4. 被害者の財産補償

問 7: 刑事施設出所者を支援する「地域生活定着支援センター」の役割として最も適切なものを選びなさい。

1. 出所者の職場復帰のための裁判支援を行う。
2. 刑事施設から出所した高齢者や障害者の地域生活を支援する。
3. 出所者の再犯を監視し、処罰を強化する。
4. 被害者の医療費を支援する。

問 8: 更生保護制度における「保護司」の役割として正しいものを選びなさい。

1. 被害者の精神的支援を行う。
2. 犯罪者の社会復帰を地域で支援するボランティア。
3. 犯罪者の裁判手続きを代行する。
4. 犯罪者の財産管理を行う。

問 9: 犯罪被害者支援において、福祉サービスが提供する具体的な内容として最も適切なものを選びなさい。

1. 被害者の安全確保と精神的ケアの提供
2. 加害者の更生計画の策定
3. 被害者への金銭的補償の直接支給
4. 被害者の移動を制限する。

問 10: 次のうち、犯罪被害者等基本法の基本理念として正しいものを選びなさい。

1. 犯罪被害者の権利と利益の保護
2. 犯罪被害者の責任追及
3. 犯罪加害者への厳罰の推奨
4. 犯罪被害者に対する福祉サービスの縮小

ソーシャルワークの基盤と専門職 模擬試験問題(10問)

問 1: ソーシャルワークの基本理念として最も適切なものを選びなさい。

1. クライアントの生活課題を代行して解決する。
2. クライアントの自立と社会参加を支援する。
3. 社会的格差を助長する制度を促進する。
4. クライアントを福祉サービスに依存させる。

問 2: 次のソーシャルワークの理論のうち、「人と環境との相互作用」に焦点を当てた理論として正しいものを選びなさい。

1. システム理論
2. 行動主義理論
3. 精神分析理論
4. 学習理論

問 3: ソーシャルワーク専門職の倫理における「インフォームド・コンセント」とは何か。

1. クライアントに十分な情報を提供し、同意を得ること。
2. クライアントの意思を尊重せずにサービスを提供すること。
3. サービス提供者の意思を優先すること。
4. クライアントの家族に情報を伝えること。

問 4: ソーシャルワークの実践過程における最初のステップとして正しいものを選びなさい。

1. 計画
2. 評価
3. アセスメント
4. 介入

問 5: ソーシャルワーカーの専門性の特徴として最も適切なものを選びなさい。

1. 個人の問題解決だけを重視する。
2. クライアントの価値観や選択を尊重する。
3. 社会的問題の構造的原因を無視する。
4. 支援者の価値観を優先する。

問 6: ソーシャルワークの実践モデルで、個人、家族、コミュニティを支援する包括的なモデルとして最も適切なものを選びなさい。

1. 危機介入モデル
2. エコシステムモデル
3. 認知行動療法モデル
4. 集団療法モデル

問 7: ソーシャルワークの歴史において、慈善組織協会(COS)の設立目的として正しいものを選びなさい。

1. 公的な福祉制度を排除する。
2. 慈善活動を科学的かつ効率的に行う。
3. 個人への金銭的支援のみを行う。
4. 福祉活動を宗教団体に限定する。

問 8: ソーシャルワークの価値における「社会的公正」とは何を意味するか。

1. すべての人が平等に福祉サービスを受けられること。
2. サービス利用者に応じて待遇を差別すること。
3. 財政的に余裕のある人だけが支援を受けること。
4. クライアントの家族構成に応じたサービスを提供すること。

問 9: ソーシャルワーカーが実践で直面する倫理的ジレンマの例として最も適切なものを選びなさい。

1. クライアントのプライバシーを守りつつ、虐待のリスクを報告する必要がある場合。
2. クライアントの意思に反してサービス提供を拒否する場合。
3. クライアントの経済状況を無視して支援を行う場合。
4. 福祉サービスの提供を自己負担させる場合。

問 10: ソーシャルワークの国際的な定義として、2014 年に国際ソーシャルワーカー連盟 (IFSW) が提示した重要な概念に含まれないものを選びなさい。

1. 社会的変化の促進
2. クライアントの尊厳と価値の尊重
3. 司法制度との統合
4. 社会的不公正の是正

ソーシャルワークの理論と方法 模擬試験問題(10 問)

問 1: ソーシャルワークのシステム理論において、「オープンシステム」が示すものとして正しいものを選びなさい。

1. 外部環境と切り離された状態で運営されるシステム
2. 外部環境と相互作用しながら適応していくシステム
3. 全ての問題を内部で解決するシステム
4. 外部環境に依存しない独立型のシステム

問 2: エコシステム理論における「メゾレベル」での介入を示す具体例として正しいものを選びなさい。

1. クライアントの個人的な問題に対する支援
2. 家族やグループに対する支援
3. 地域社会や政策に対する介入

4. クライエントの職場環境への介入

問 3: 危機介入モデルの主な目的として最も適切なものを選びなさい。

1. クライエントの長期的な問題解決を図る。
2. クライエントの危機的状況を一時的に安定させる。
3. クライエントの社会的ネットワークを再構築する。
4. クライエントの精神的な強靭さを測定する。

問 4: ソーシャルワークの「ナラティブアプローチ」が重視するものとして正しいものを選びなさい。

1. クライエントの行動パターンを分析すること
2. クライエントの過去の物語や経験を通じて意味を再構築すること
3. クライエントの行動を直接的に修正すること
4. クライエントの心理状態を薬物療法で改善すること

問 5: ソーシャルワークの認知行動モデルで重要視されるアプローチとして正しいものを選びなさい。

1. クライエントの行動を無意識的に変化させること
2. クライエントの思考や認知の歪みを修正すること
3. クライエントの家族との関係を再構築すること
4. クライエントの社会的ネットワークを広げること

問 6: ソーシャルワークにおける「ケースワーク」の特徴として正しいものを選びなさい。

1. 個人を支援の対象とし、個別の問題解決に焦点を当てる。
2. 集団やコミュニティを対象とする広範な支援を行う。
3. 家族全体の関係性を重視した支援を行う。
4. 社会運動や政策提言を主な目的とする。

問 7: グループワークの目的として正しいものを選びなさい。

1. 個人の問題を他のメンバーと共有し、集団の中で成長する。
2. 集団の中で個々の問題を分散させる。
3. 集団活動の中でリーダーシップを排除する。
4. 個人の問題を集団から切り離して解決する。

問 8: 地域組織化の目的として最も適切なものを選びなさい。

1. クライアント個人の問題解決に集中する。
2. 地域住民が自らの生活環境を改善するための力をつける。
3. 行政の介入を地域から排除する。
4. 地域内の特定のグループだけを支援する。

問 9: ソーシャルワークにおける「エンパワメントアプローチ」の特徴として正しいものを選びなさい。

1. クライアントの依存を促進する。
2. クライアントの潜在能力を引き出し、自己決定を支援する。
3. クライアントの家族関係に干渉しない。
4. クライアントの問題を全て専門家が解決する。

問 10: ソーシャルワークの「タスク中心アプローチ」の主な手法として正しいものを選びなさい。

1. クライアントと共に達成可能な目標を設定し、具体的な行動計画を立てる。
2. クライアントの過去の心理的トラウマに焦点を当てる。
3. クライアントの社会環境の改善を長期的に目指す。
4. クライアントの精神的問題を薬物治療で解決する。

社会福祉調査の基礎 模擬試験問題(10問)

問 1: 社会福祉調査の目的として最も適切なものを選びなさい。

1. クライアントの個別支援計画を一律に作成するため
2. 福祉サービスの実態やニーズを把握し、適切な施策を立案するため
3. 調査対象者の情報を収集し、第三者に公開するため
4. 社会福祉士の資格更新要件を満たすため

問 2: 社会福祉調査における「量的調査」の特徴として正しいものを選びなさい。

1. 少数の事例から深い洞察を得る方法
2. 数値や統計を用いて客観的な分析を行う方法
3. 面接を中心に主観的な意見を収集する方法
4. 調査対象者の匿名性を確保しない方法

問 3: 社会福祉調査で用いられる「サンプリング」における「無作為抽出」の目的として正しいものを選びなさい。

1. 調査の対象を特定の属性に偏らせること
2. 調査結果の信頼性を高めること
3. 調査対象をランダムに選ぶことで効率を下げること
4. 調査対象者の意向を反映しないこと

問 4: 社会福祉調査における「質問紙調査」の利点として正しいものを選びなさい。

1. 少数の対象者に深い洞察を得ることができる
2. 大規模な対象者に対して短期間で実施できる
3. 対象者の自由な意見を収集できる
4. 調査者が個人的な意見を反映させることが可能である

問 5: 次のうち、社会福祉調査における「調査倫理」に関する記述として正しいものを選びなさい。

1. 調査対象者の同意を得る必要はない
2. 調査結果を特定の目的以外で使用してもよい
3. 調査対象者のプライバシーを保護することが重要である
4. 調査対象者に報酬を与えることが義務である

問 6: 社会福祉調査における「仮説検証型調査」の特徴として正しいものを選びなさい。

1. 調査開始時に仮説を立てず、結果から分析する方法
2. 既存の理論や仮説を基にデータを収集し検証する方法
3. 仮説の有無に関わらず自由に意見を収集する方法
4. 特定の結論を導くことを目的としない方法

問 7: 社会福祉調査において「信頼性」とは何を指すか。

1. 調査結果が他の状況でも一貫しているかを示す指標
2. 調査対象者の個人的意見が反映されているかを示す指標
3. 調査が社会的に受け入れられるかを示す指標
4. 調査の目的が正確に達成されたかを示す指標

問 8: 社会福祉調査で用いられる「質的調査」の具体例として正しいものを選びなさい。

1. 質問紙を使った統計分析
2. 面接法や観察法を用いた深い情報収集
3. 大規模なアンケート調査
4. 数値データを用いた機械的な分析

問 9: 社会福祉調査で得られたデータの分析における「クロス集計」の目的として正しいものを選びなさい。

1. 調査結果の概要を単一の指標で示す

2. 複数の変数間の関係性を明らかにする
3. 調査対象者の意見を直接反映する
4. 調査対象者の回答を全て一覧表示する

問 10: 調査の「妥当性」とは何を指すか。

1. 調査結果が調査者の意図に合致しているかどうか
2. 調査が目的に適合しているかを示す指標
3. 調査対象者が結果に満足しているかどうか
4. 調査が社会的な影響力を持つかを示す指標